

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和8年5月19日(火)
感染症対策センター
(衛生環境研究所)

令和8年第14週から第18週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

今回(14週～18週)5週 (R8.3.30～R8.5.3)	前回(9週～13週)5週 (R8.2.23～R8.3.29)	前々回(4週～8週)5週 (R8.1.19～R8.2.22)
1 感染性胃腸炎 (700) [↑194]	1 インフルエンザ (2,460)	1 インフルエンザ (1,905)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (639) [↓38]	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (677)	2 感染性胃腸炎 (550)
3 インフルエンザ (318) [↓2,142]	3 感染性胃腸炎 (506)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (527)
4 新型コロナウイルス感染症 (119) [↓23]	4 新型コロナウイルス感染症 (142)	4 新型コロナウイルス感染症 (276)
5 RSウイルス感染症 (63) [↑29]	5 RSウイルス感染症 (34)	5 RSウイルス感染症 (83)
6 その他 (75) [↑16]	6 その他 (59)	6 その他 (80)
(合計 1,914)	(合計 3,878)	(合計 3,421)

※急性呼吸器感染症(ARI)定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数である。
※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

増加した疾病		減少した疾病	
RSウイルス感染症	85%	インフルエンザ	87%
感染性胃腸炎	38%	新型コロナウイルス感染症	16%
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6%

3 急性呼吸器感染症(ARI)報告数

第14週から第18週の患者報告数は、7,159件であった。

<急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスとは>

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

なお、急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに別の定点把握対象感染症で診断された場合、両方に報告されます。

4 コメント

【感染性胃腸炎】

ノロウイルス等による感染者数が多い状況であり、集団感染事例も続発しており、注意が必要です。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいので、トイレやオムツなどの汚物処理の後や、調理、食事の前などには、手洗いを徹底しましょう。感染した人の便や吐物を処理する場合には、ゴム手袋やマスクを着用し、処理後の床や感染した人が触れた物などは、塩素系の消毒剤を使用して消毒しましょう。

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

県内全域に警報を発令しています。手洗い、消毒、咳エチケット等の感染予防をお願いします。また、まれに A、B、G 群等の溶血性レンサ球菌の感染によって、突発的に発症し、重い症状を引き起こし、急速に多臓器不全が進行する「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」になることがあります。主に大人が発症し、県内でも確認されています。傷口から感染する可能性があるため、小さな傷でも清潔に保ち、手足の腫れや痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。

【麻しん】

現在、県内での発生はありませんが、全国では外国での感染が疑われる事例のほか、海外渡航歴のない事例も含め、患者報告数が急増しています。発熱や眼の充血、全身の発しんなどがある場合は、事前に医療機関に連絡の上受診しましょう。

予防にはワクチンの2回接種が有効です。定期接種（対象：1歳児（第1期）、小学校就学前の1年間の幼児（第2期））は必ず受けましょう。また、2回接種が未了の方などで、海外への渡航を予定している方、0歳児や妊婦の同居者等を対象に、保健所で無料の抗体検査を開始しました。検査により麻しんに対する免疫が十分かどうかわかります。詳しくは各保健所にご相談ください。

令和8年第14週～第18週の報告患者数

区 分	今回報告患者数 第14週～第18週(5週分)					前回報告患者数 第9週～第13週(5週分)				前々回報告患者数 第4週～第8週(5週分)				前回比 増 減	令和8年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	98	107	113	318	-2,142	1,020	616	824	2,460	574	621	710	1,905	-87%	5,655
2 新型コロナウイルス感染症	17	72	30	119	-23	85	28	29	142	221	7	48	276	-16%	652
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	3	12	4	19	8	2	5	4	11	7	8	4	19	73%	64
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	321	104	214	639	-38	337	66	274	677	230	52	245	527	-6%	1,967
5 感染性胃腸炎	404	174	122	700	194	226	176	104	506	254	163	133	550	38%	1,929
6 水痘	8	14	4	26	7	4	7	8	19	2	5	9	16	37%	77
7 手足口病	0	0	0	0	-1	0	0	1	1	3	0	3	6	-100%	10
8 伝染性紅斑	0	0	5	5	-3	4	1	3	8	2	1	10	13	-38%	39
9 突発性発疹	2	3	5	10	-3	6	5	2	13	0	5	6	11	-23%	45
10 ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1
11 流行性耳下腺炎	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	—	2
12 RSウイルス感染症	40	5	18	63	29	21	8	5	34	57	9	17	83	85%	199
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
14 流行性角結膜炎	0	0	1	1	-1	1	0	1	2	2	0	0	2	-50%	6
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	1	0	2	3	2	0	0	1	1	1	0	1	2	200%	6
16 無菌性髄膜炎	3	0	0	3	2	0	0	1	1	2	0	0	2	200%	7
17 マイコプラズマ肺炎	4	1	0	5	2	2	1	0	3	2	6	1	9	67%	40
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1

※中部の基幹定点数は小児科定点と共通のため、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の件数は感染性胃腸炎の内数となります。

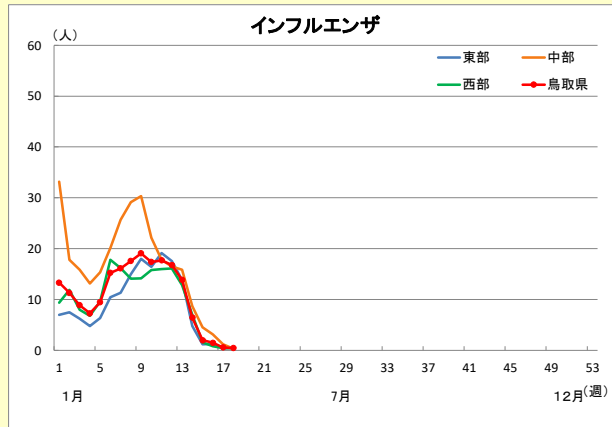
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
20 急性呼吸器感染症(ARI)	3,031	1,846	2,282	7,159	-1,847	3,930	2,081	2,995	9,006	3,725	2,063	3,592	9,380	-21%	29,333

※急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに上記の他疾病で診断された場合、両方に報告されています。

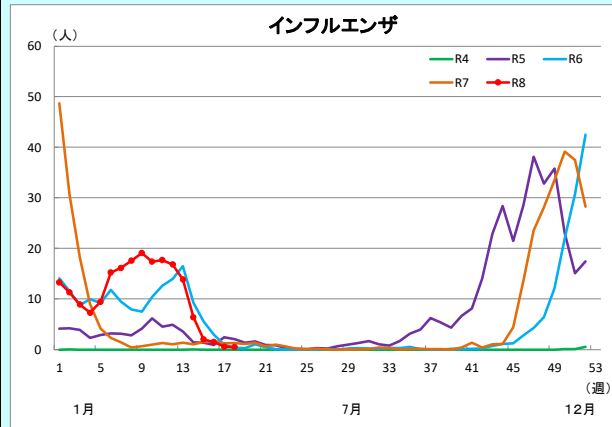
合 計	3,933	2,339	2,801	9,073	-3,811	5,638	2,994	4,252	12,884	5,082	2,940	4,779	12,801	-30%	40,034
-----	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	------	--------

※令和7年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)が追加され、「インフルエンザ/COVID-19定点」は「急性呼吸器感染症(ARI)定点」に変更されました。

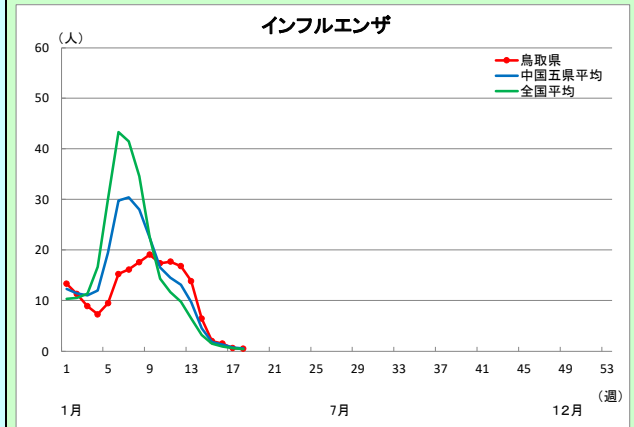
地区発生状況(定点当たり)



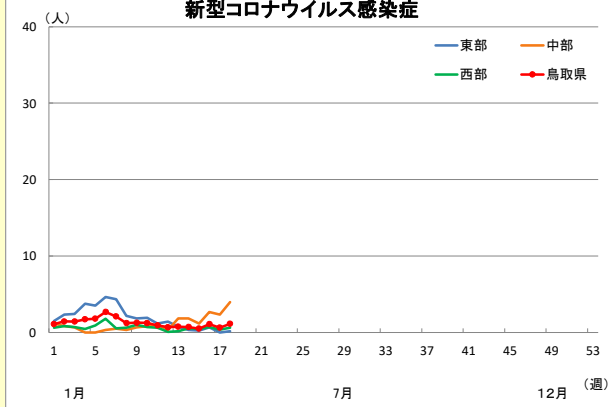
年次別発生状況(定点当たり)



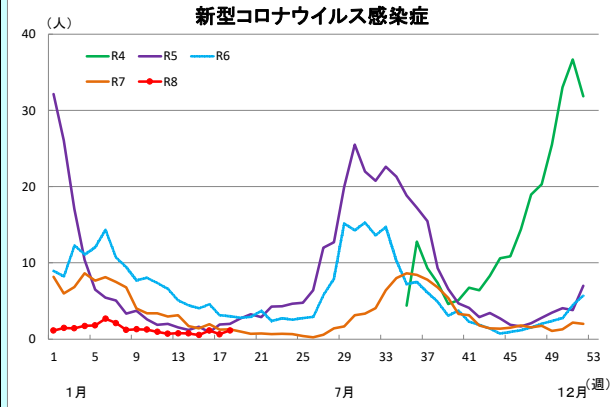
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



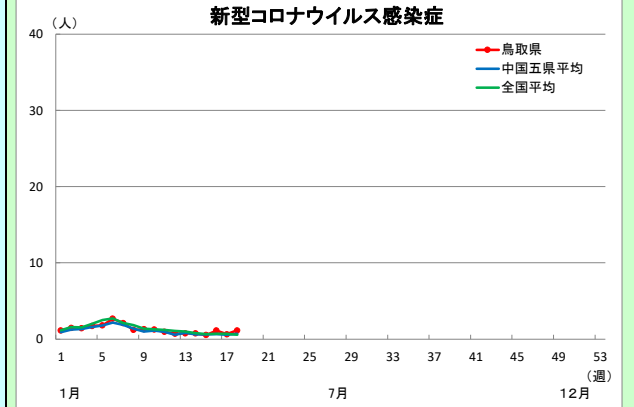
新型コロナウイルス感染症



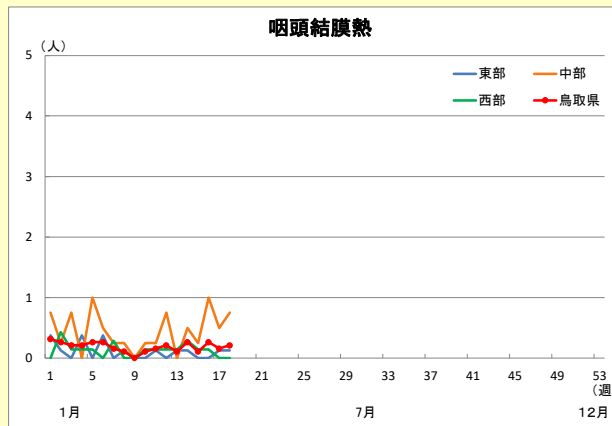
新型コロナウイルス感染症



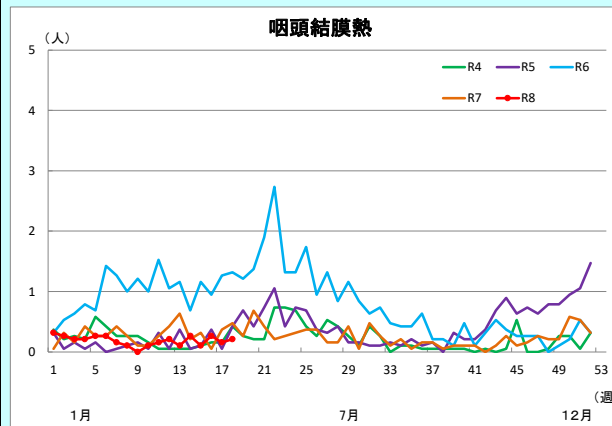
新型コロナウイルス感染症



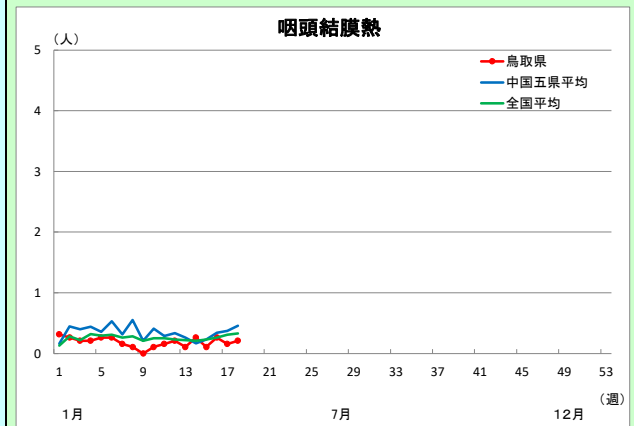
咽頭結膜熱



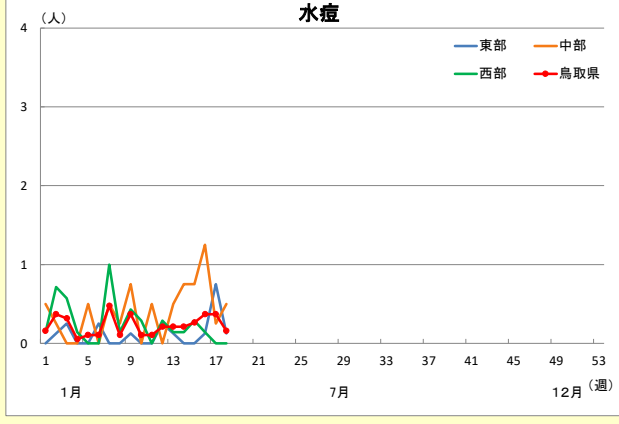
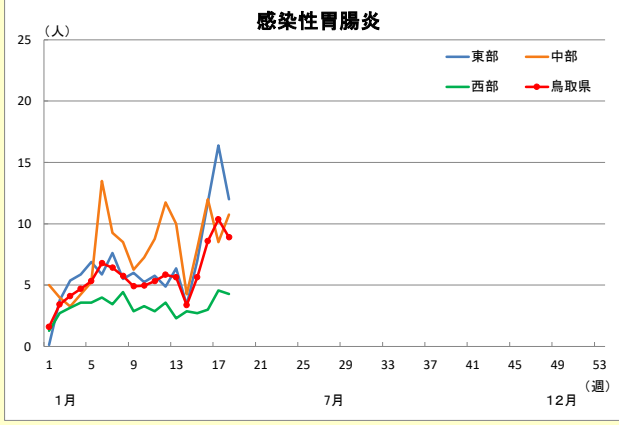
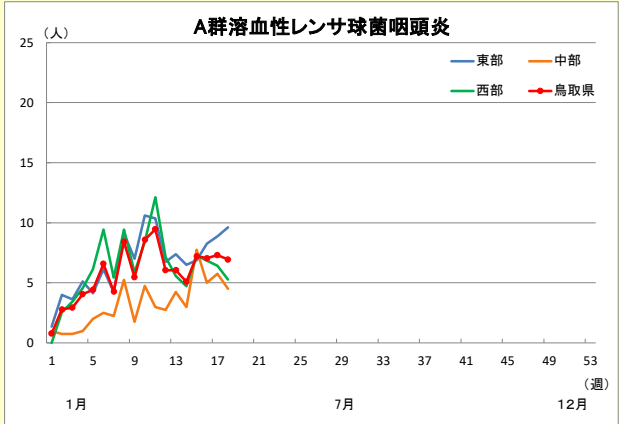
咽頭結膜熱



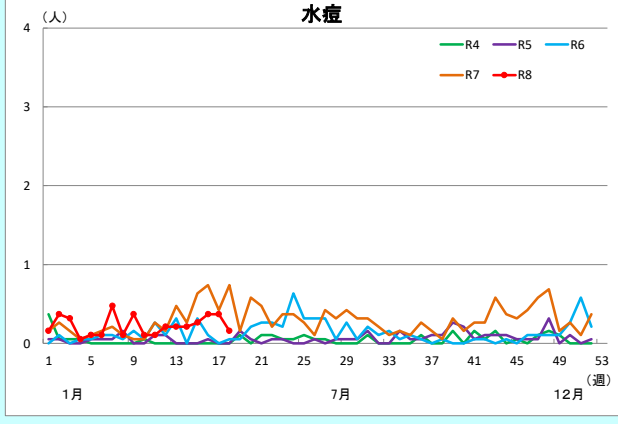
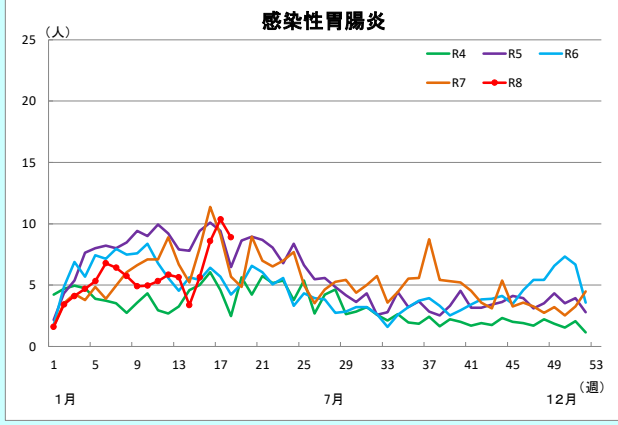
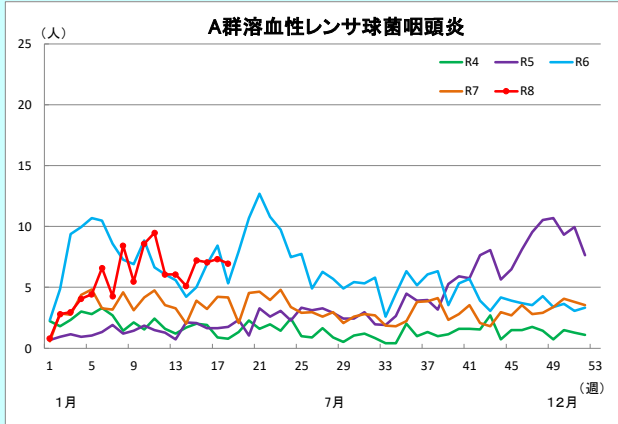
咽頭結膜熱



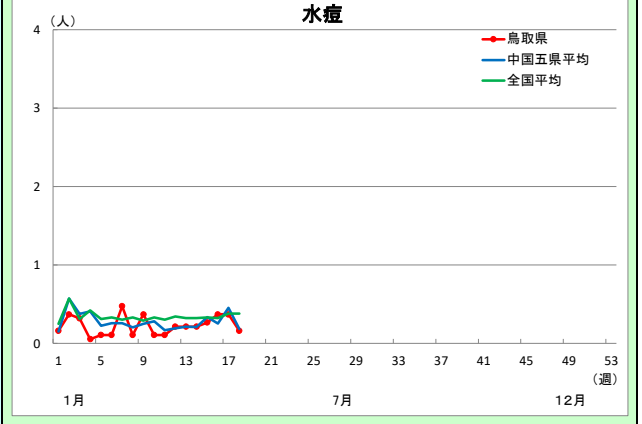
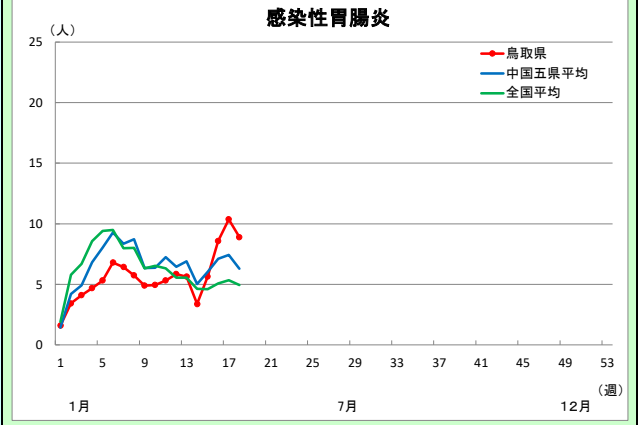
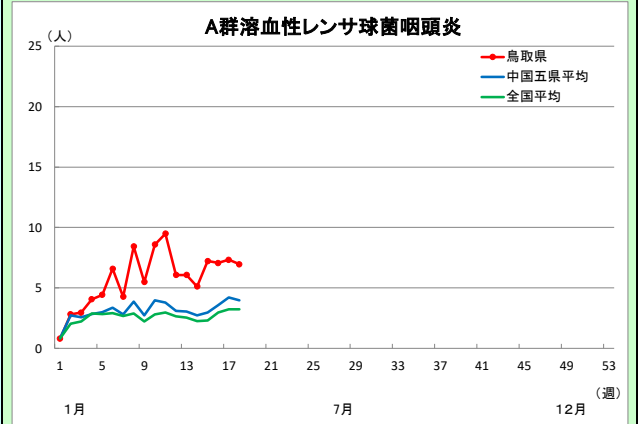
地区発生状況(定点当たり)



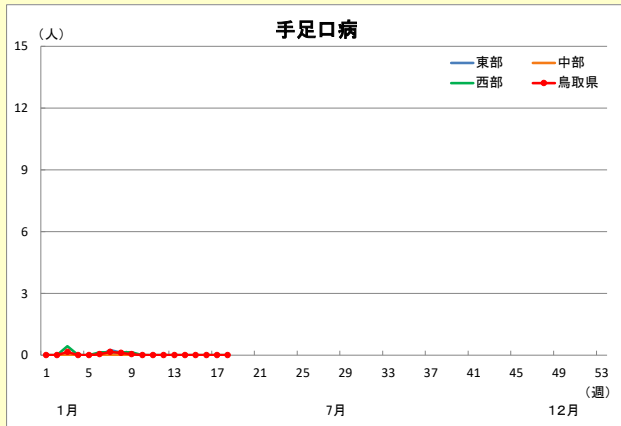
年次別発生状況(定点当たり)



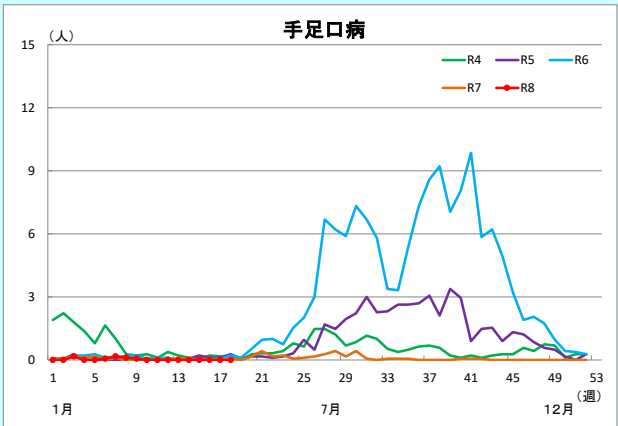
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



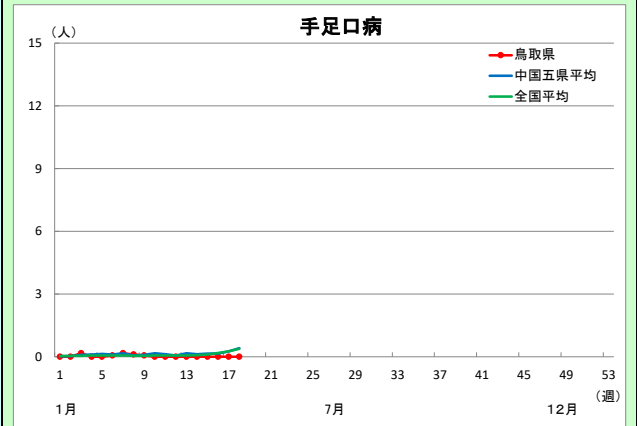
地区発生状況(定点当たり)



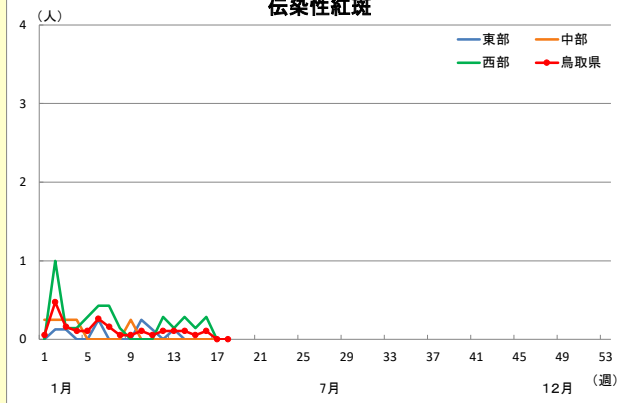
年次別発生状況(定点当たり)



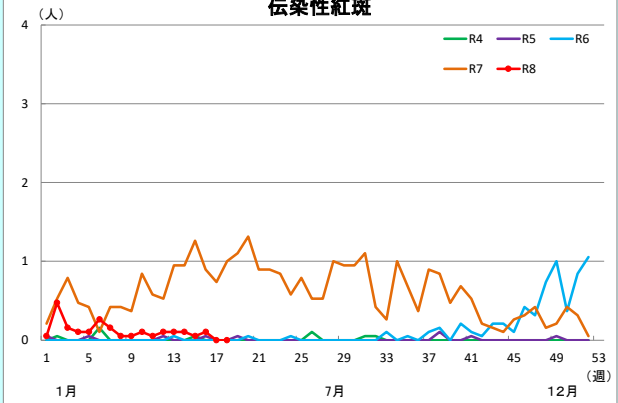
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



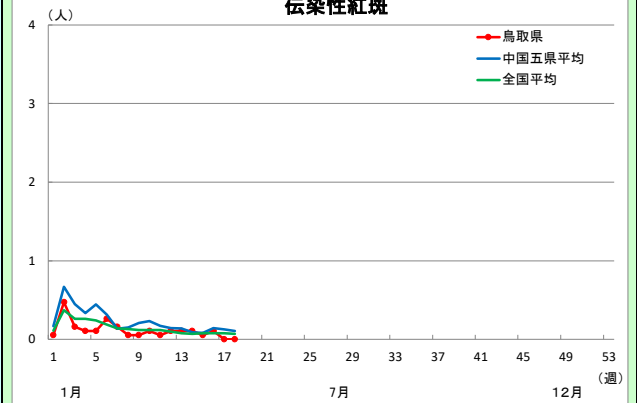
伝染性紅斑



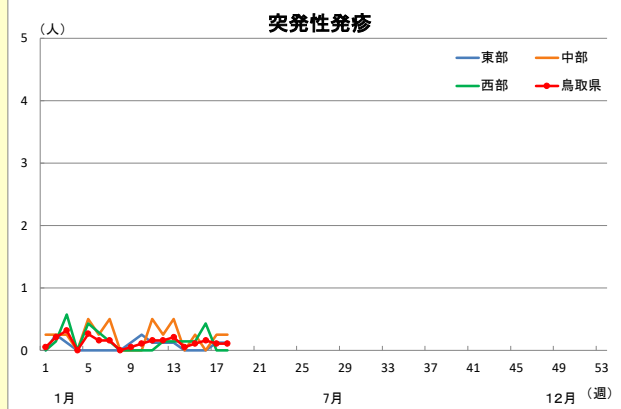
伝染性紅斑



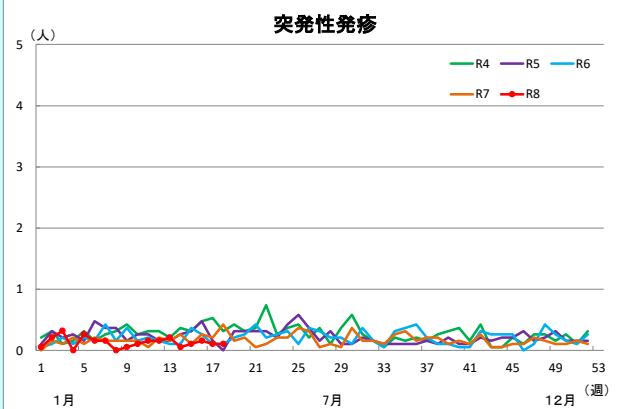
伝染性紅斑



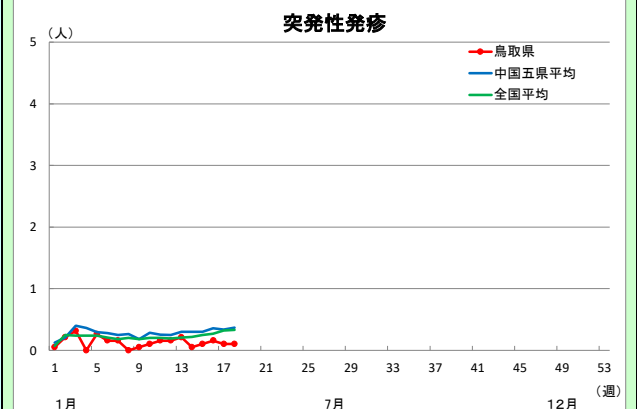
突発性発疹



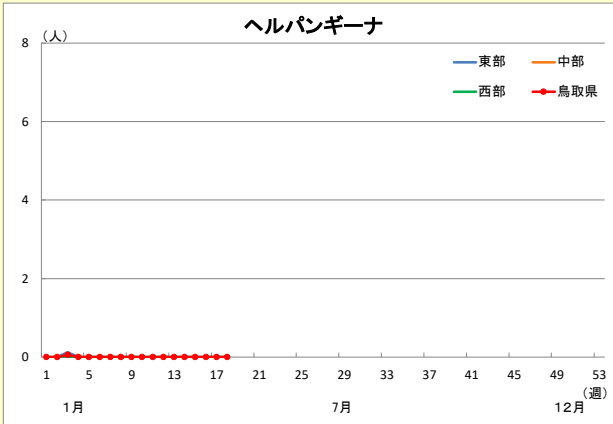
突発性発疹



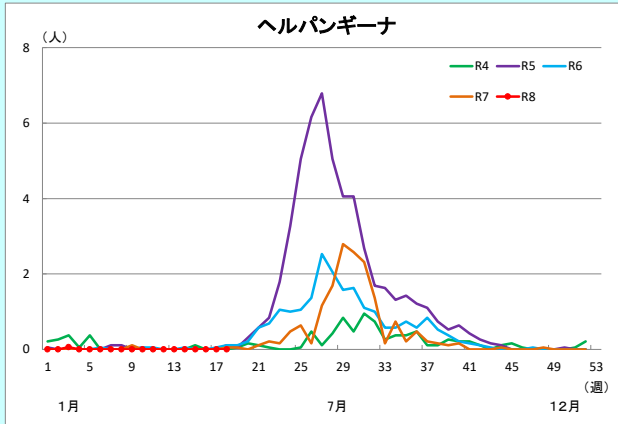
突発性発疹



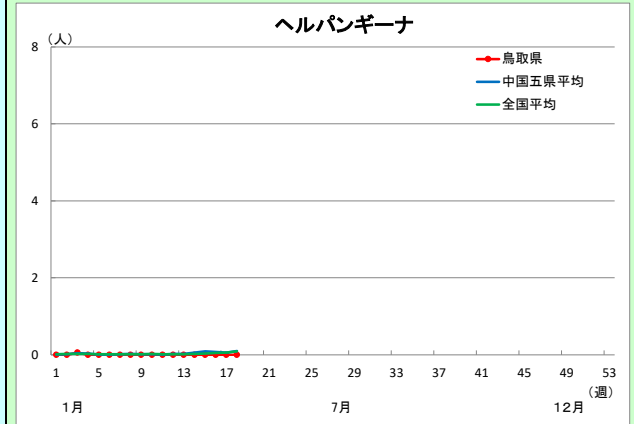
地区発生状況(定点当たり)



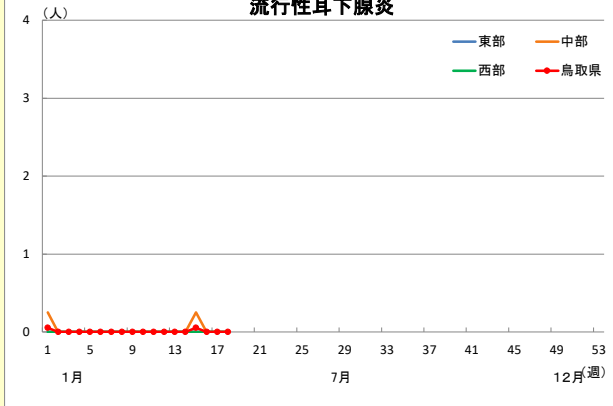
年次別発生状況(定点当たり)



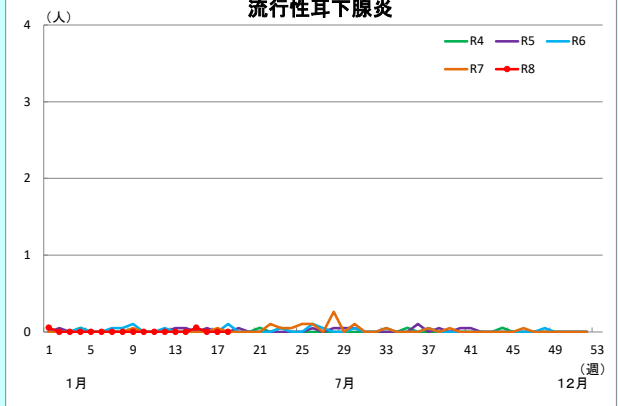
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



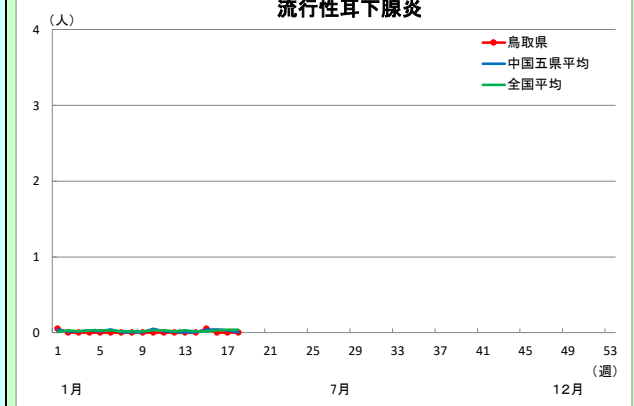
流行性耳下腺炎



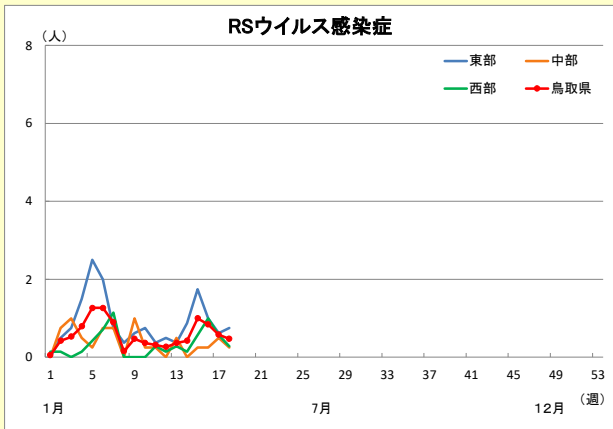
流行性耳下腺炎



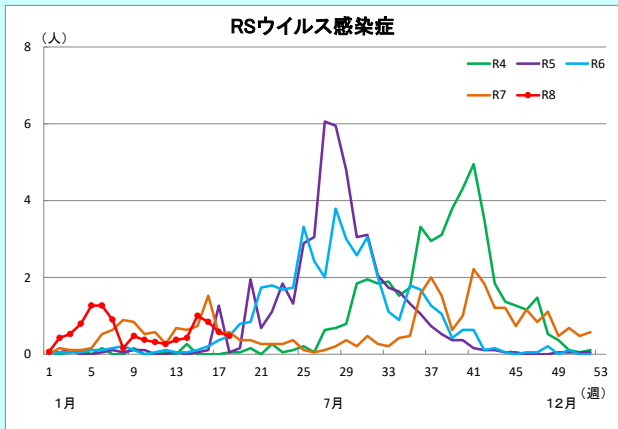
流行性耳下腺炎



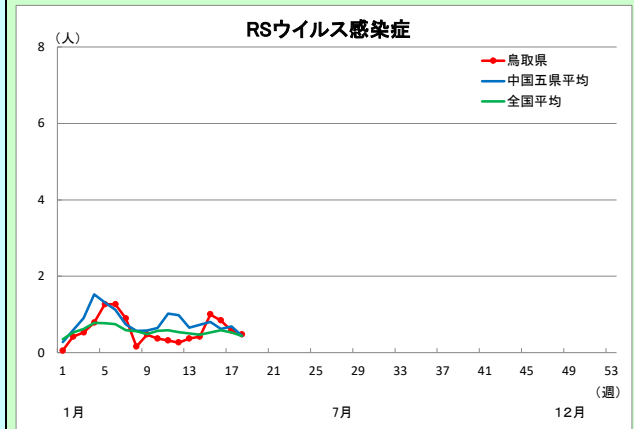
RSウイルス感染症



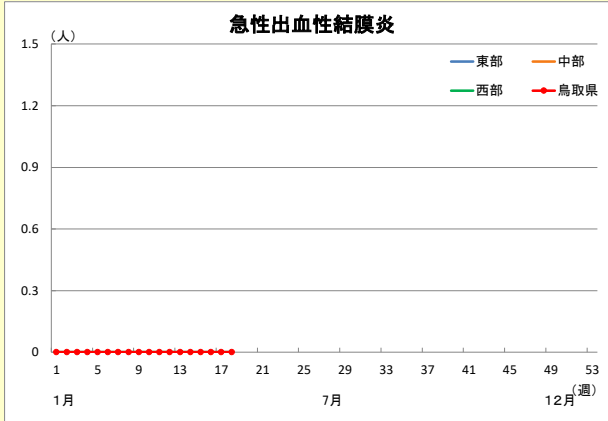
RSウイルス感染症



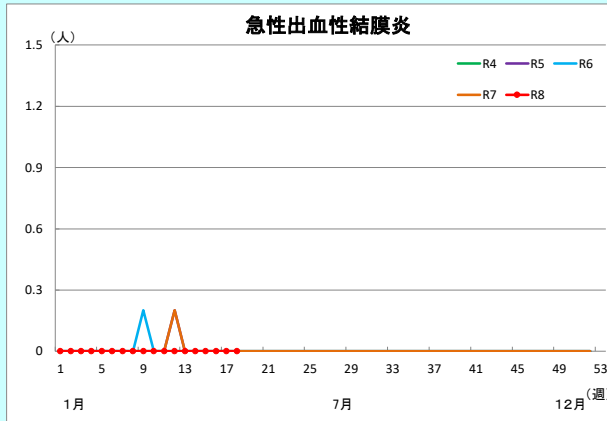
RSウイルス感染症



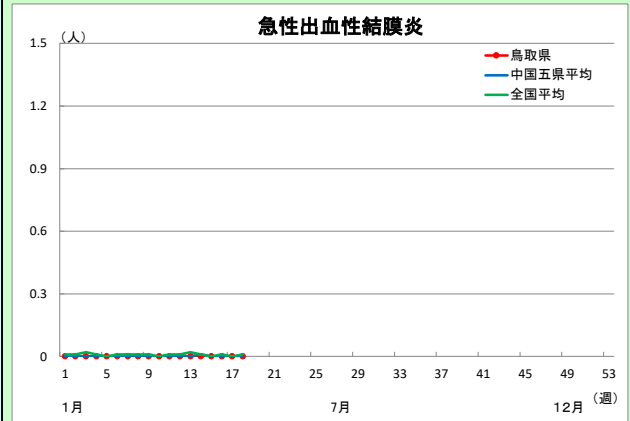
地区発生状況(定点当たり)



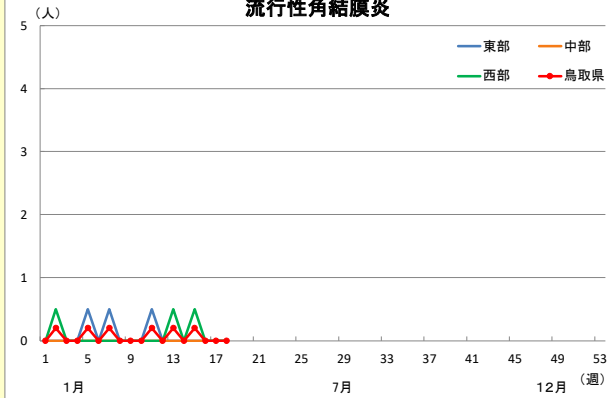
年次別発生状況(定点当たり)



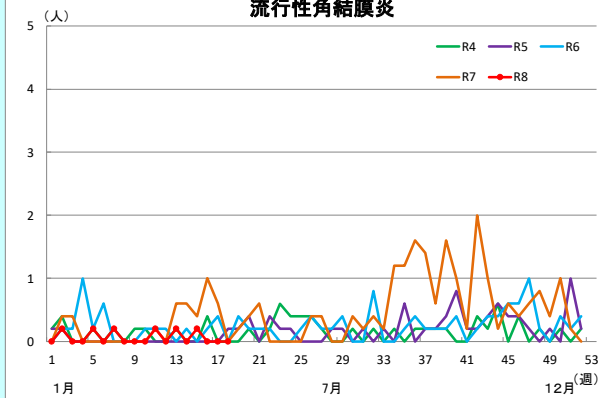
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



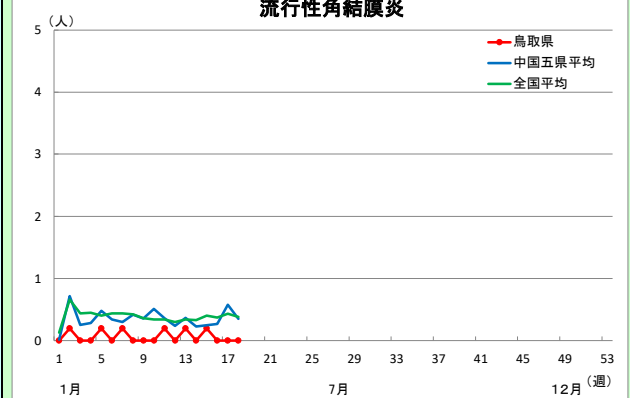
流行性角結膜炎



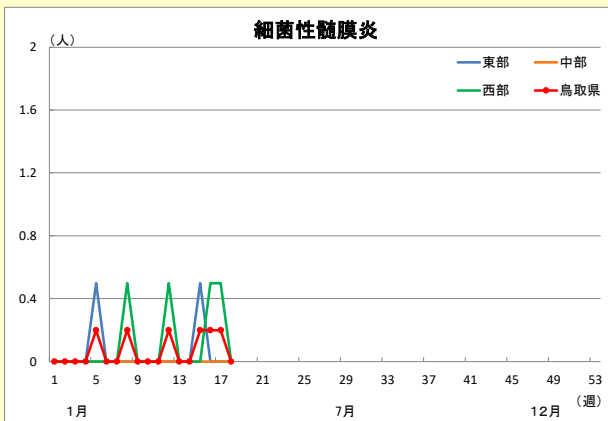
流行性角結膜炎



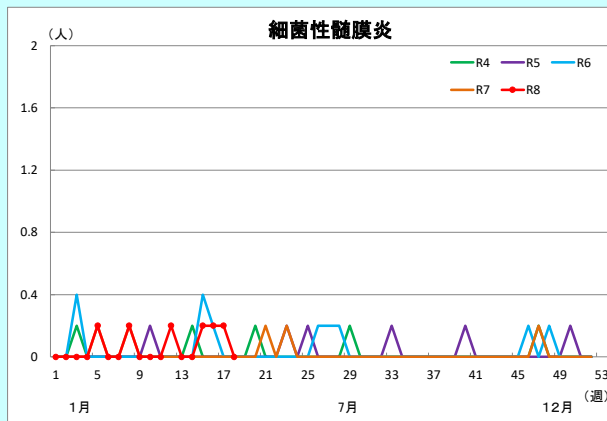
流行性角結膜炎



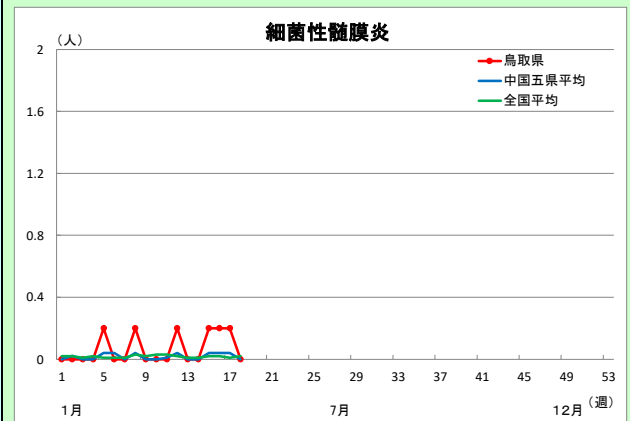
細菌性髄膜炎



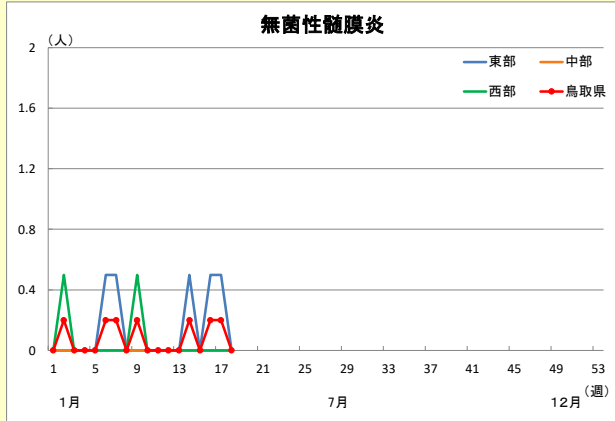
細菌性髄膜炎



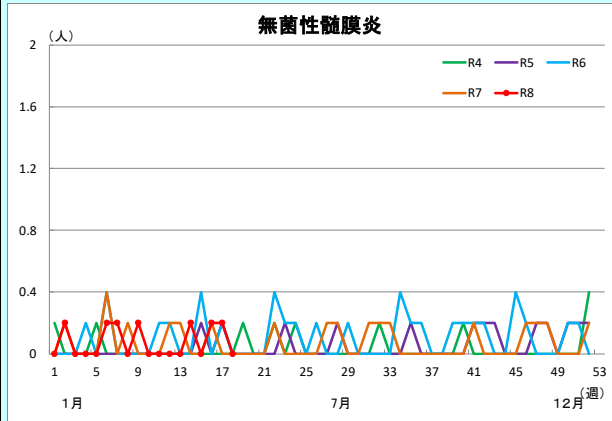
細菌性髄膜炎



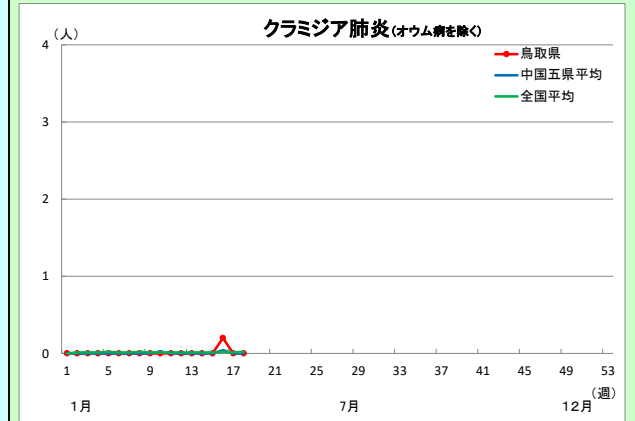
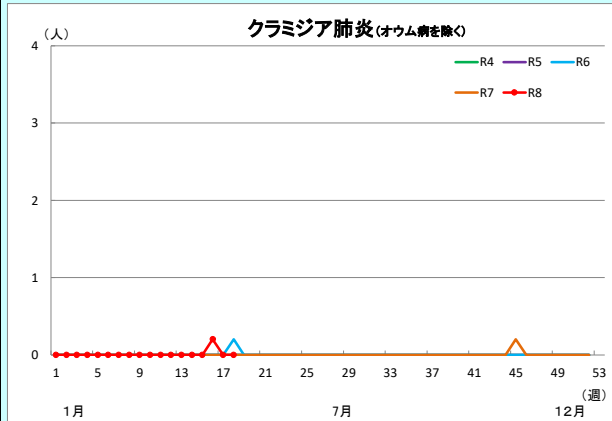
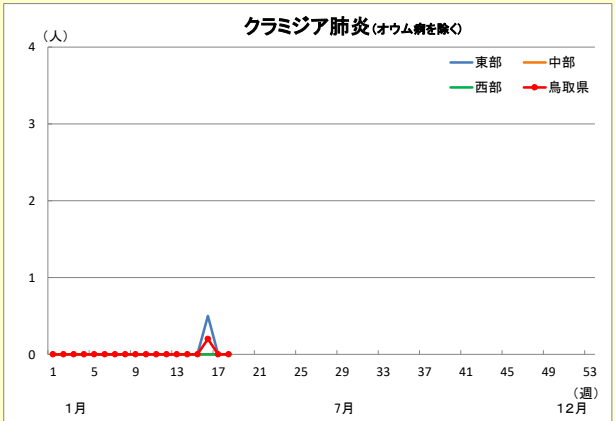
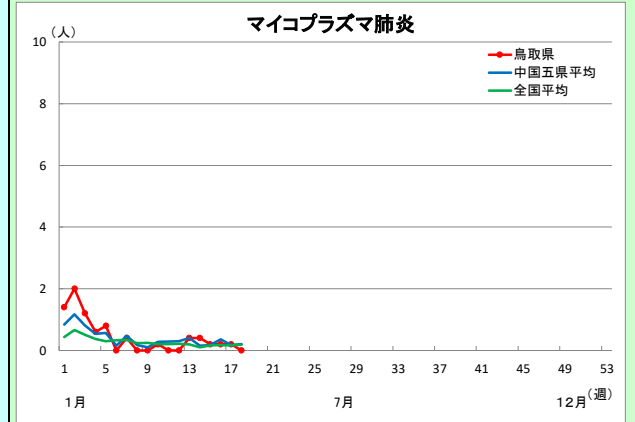
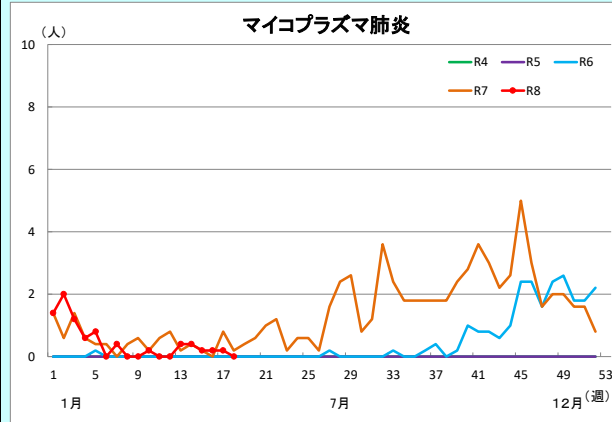
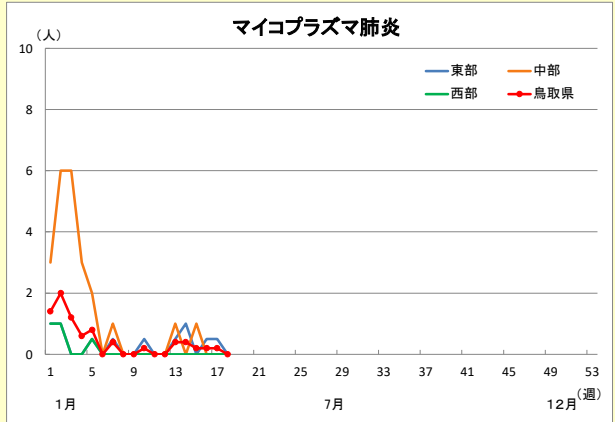
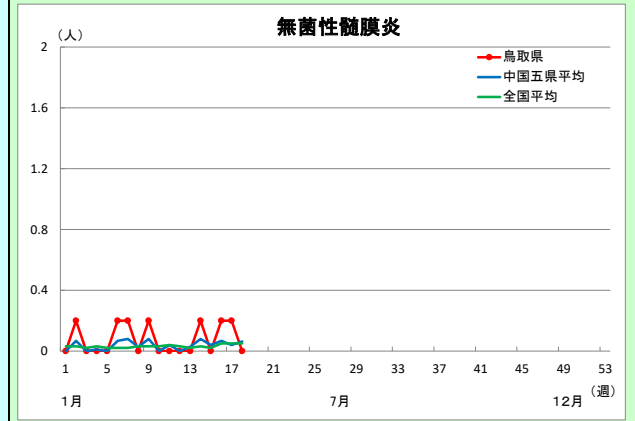
地区発生状況(定点当たり)



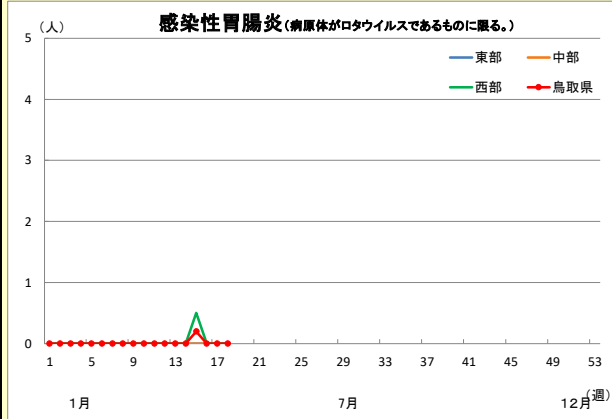
年次別発生状況(定点当たり)



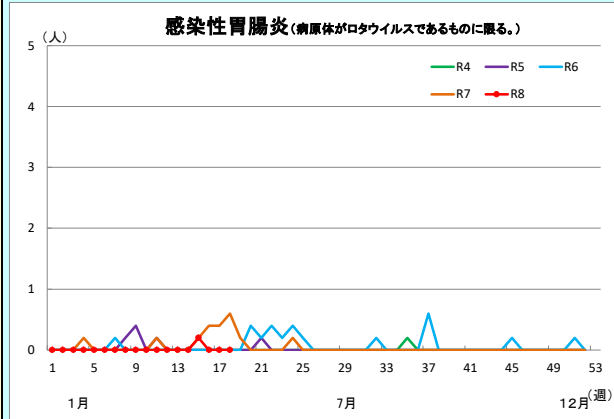
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



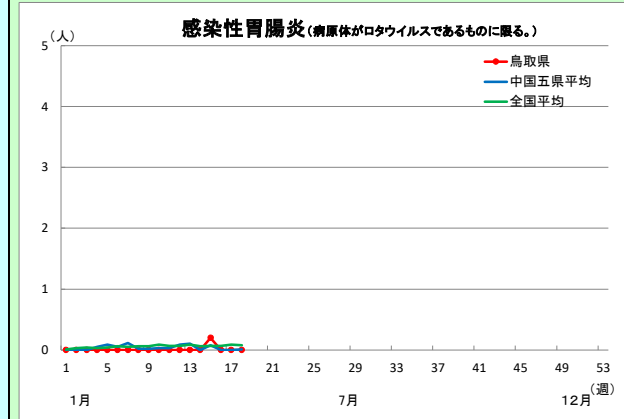
地区発生状況(定点当たり)



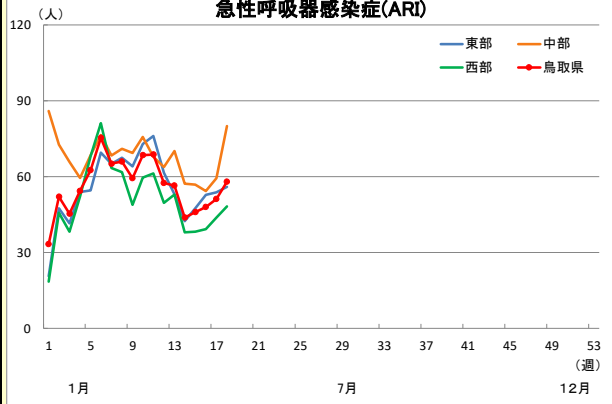
年次別発生状況(定点当たり)



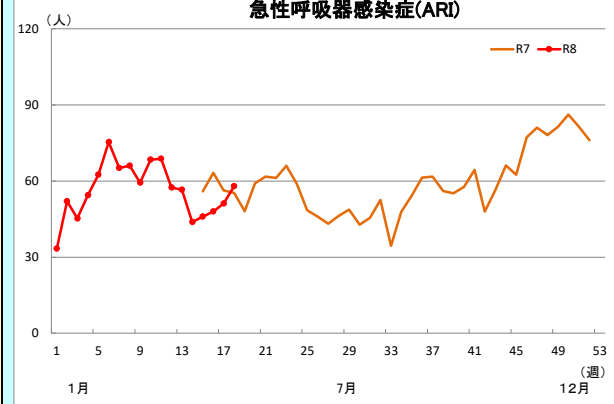
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



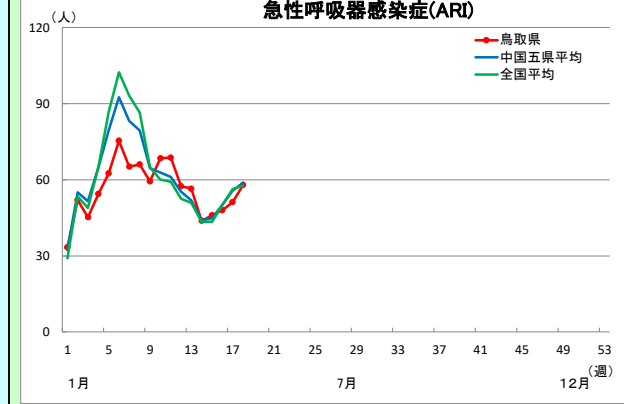
急性呼吸器感染症(ARI)



急性呼吸器感染症(ARI)



急性呼吸器感染症(ARI)



注)新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

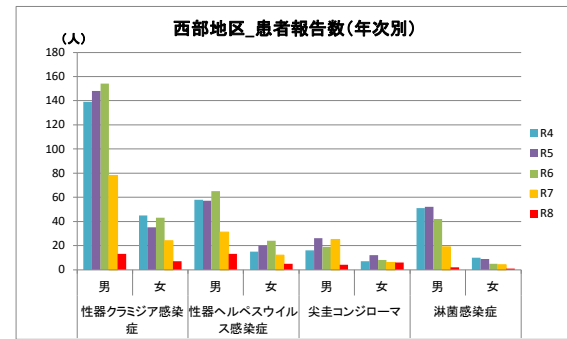
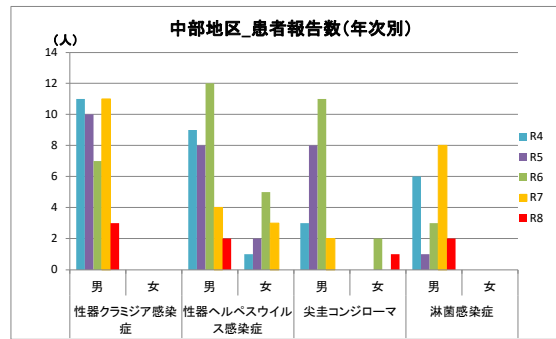
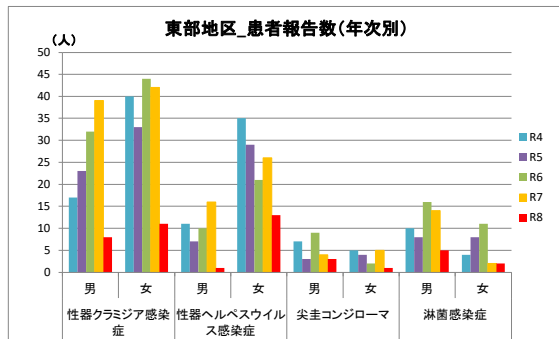
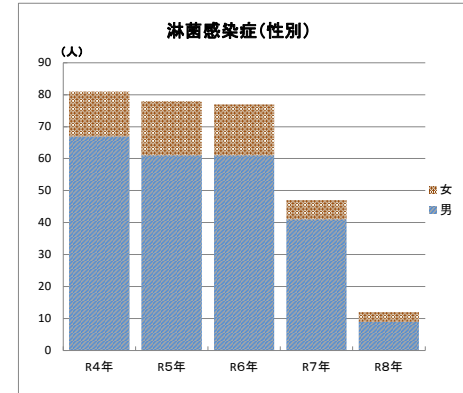
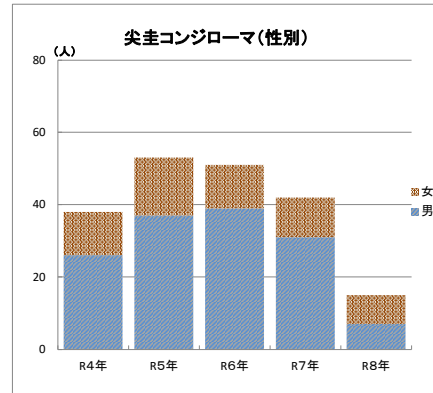
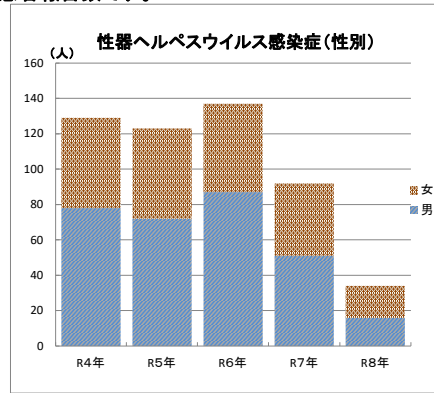
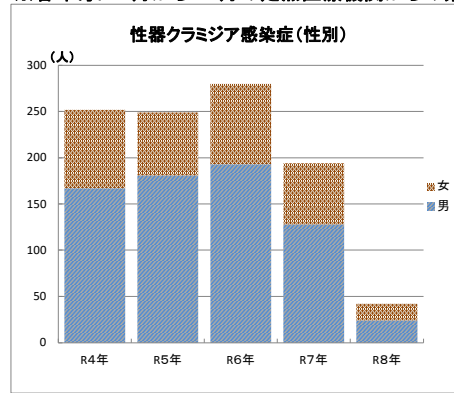
令和7年

定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			12月計			対前年累計比率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
S	性器クラミジア感染症	9	3	12	15	4	19	13	6	19	10	9	19	21	3	24	11	7	18	14	5	19	9	1	10	1	7	8	8	7	15	4	9	13	13	5	18	128	66	194	66%	76%	69%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	4	11	3	2	5	2	4	6	3	4	7	7	1	8	2	4	6	6	5	11	6	1	7	3	1	4	5	5	10	4	7	11	3	3	6	51	41	92	59%	82%	67%
D	尖圭コンジローマ	0	1	1	3	1	4	4	4	8	5	3	8	3	1	4	1	0	1	4	1	5	1	0	1	5	0	5	2	0	2	0	0	0	3	0	3	31	11	42	79%	92%	82%
7	淋菌感染症	3	0	3	4	0	4	5	0	5	2	0	2	3	0	3	5	2	7	4	1	5	5	1	6	3	1	4	4	0	4	2	0	2	1	1	2	41	6	47	67%	38%	61%
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	2	7	9	5	14	5	5	10	6	5	11	3	2	5	6	1	7	7	1	8	2	3	5	3	4	7	3	5	8	7	5	12	3	5	8	59	43	102	87%	123%	99%
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	38%	—	50%
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	200%	—	200%

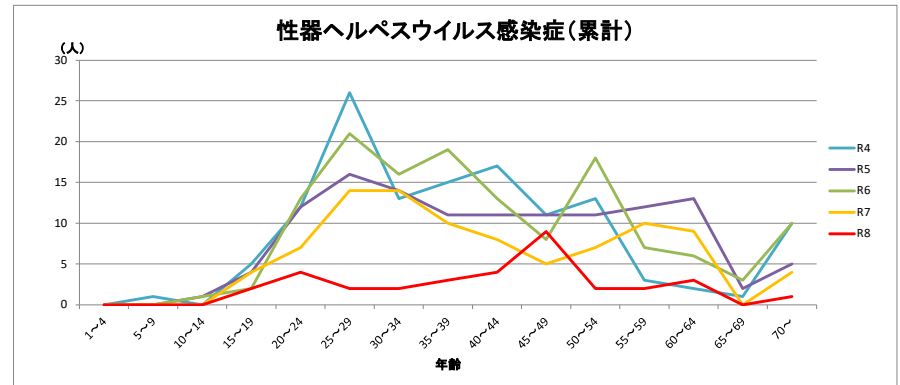
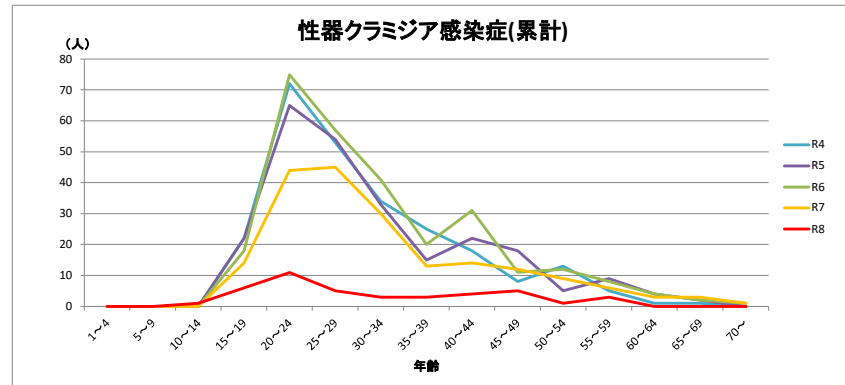
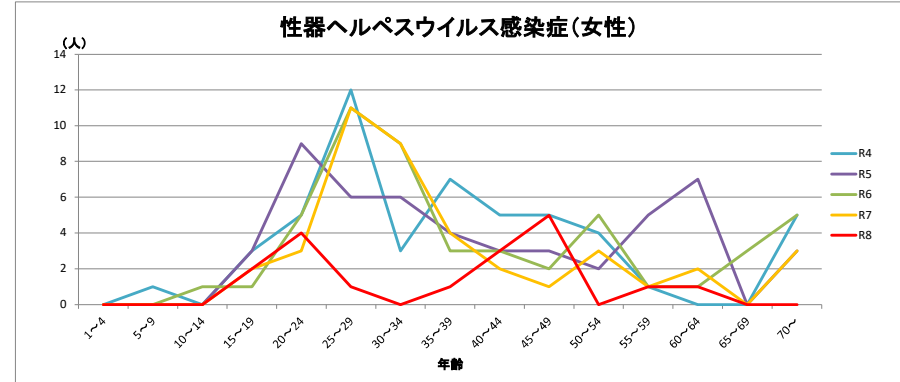
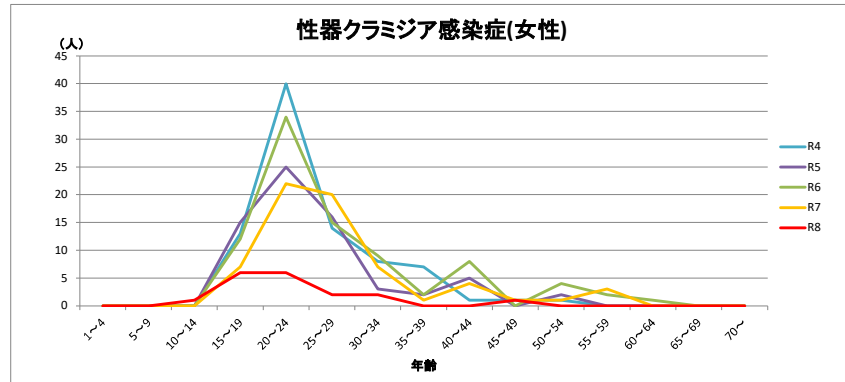
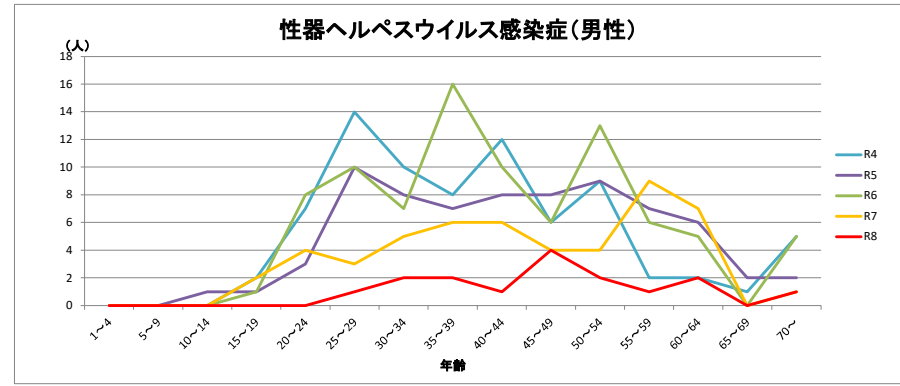
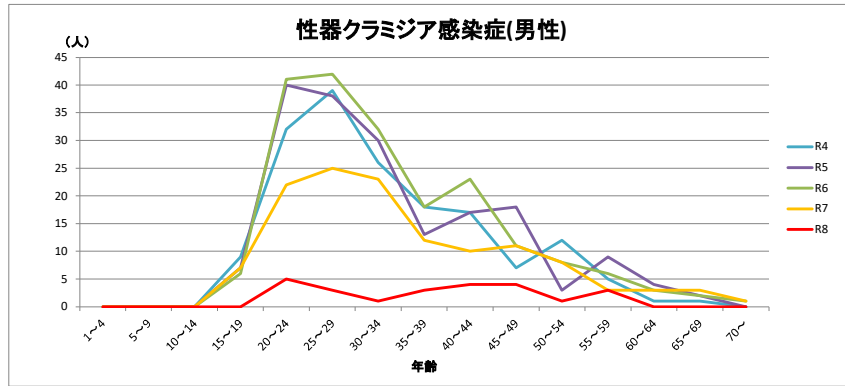
令和8年

定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			4月計			対前年4月末累計比率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
S	性器クラミジア感染症	6	5	11	6	2	8	3	7	10	9	4	13																									24	18	42	51%	82%	61%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	2	7	9	4	3	7	5	6	11	5	2	7																									16	18	34	107%	129%	117%
D	尖圭コンジローマ	0	2	2	1	0	1	0	3	3	6	3	9																									7	8	15	58%	89%	71%
7	淋菌感染症	2	0	2	2	0	2	0	3	3	5	0	5																									9	3	12	64%	—	86%
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	9	5	14	7	2	9	4	4	8	5	2	7																									25	13	38	100%	76%	90%
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																									0	0	0	0%	0%	0%
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																									0	0	0	—	—	—

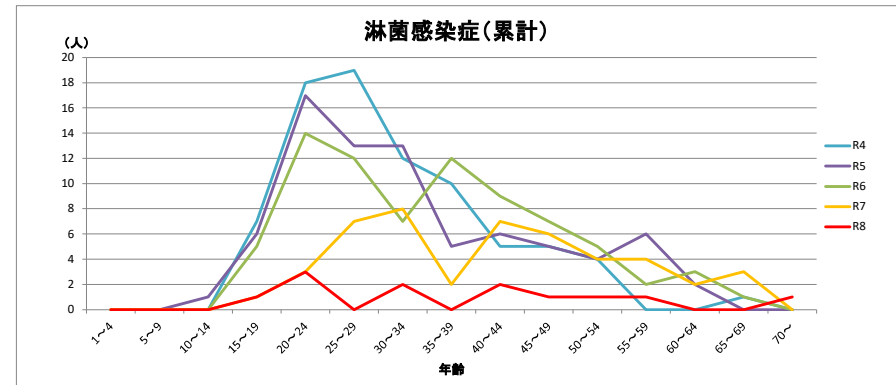
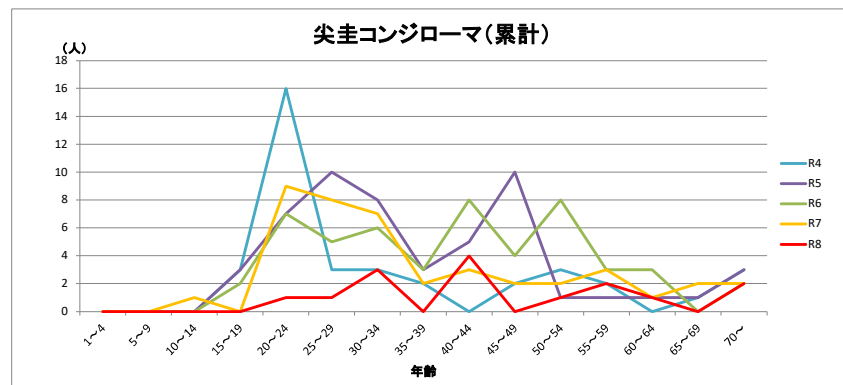
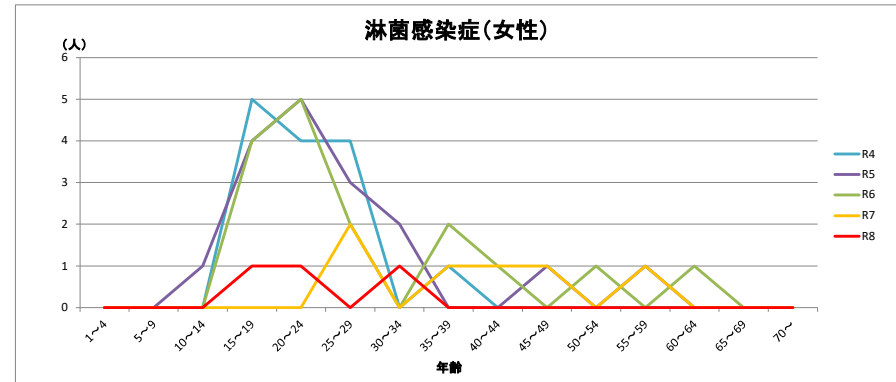
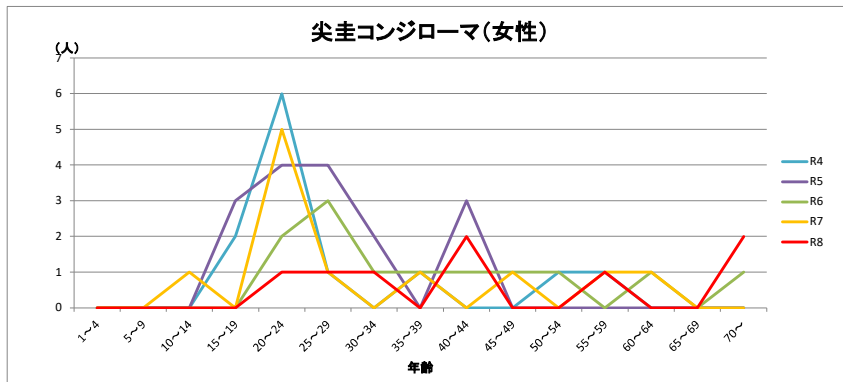
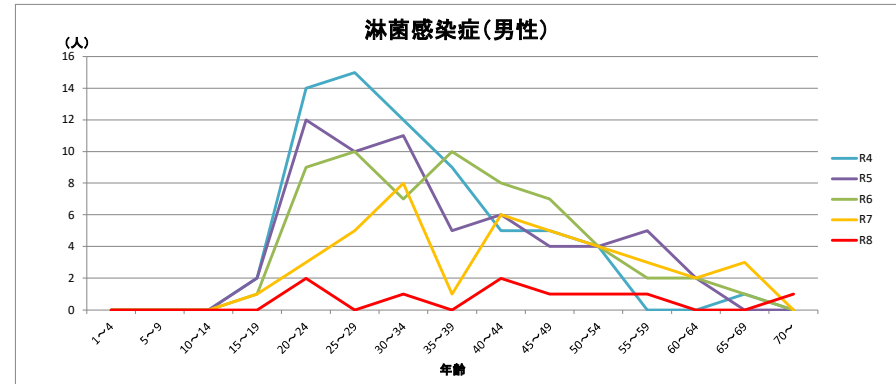
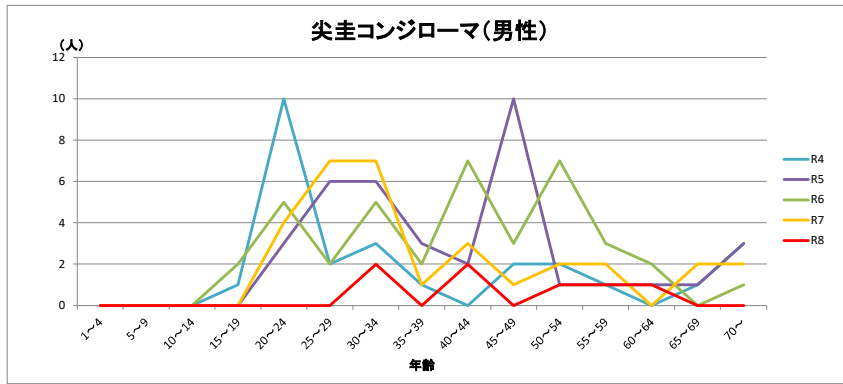
※各年毎に1月から12月の定点医療機関からの累計患者報告数です。



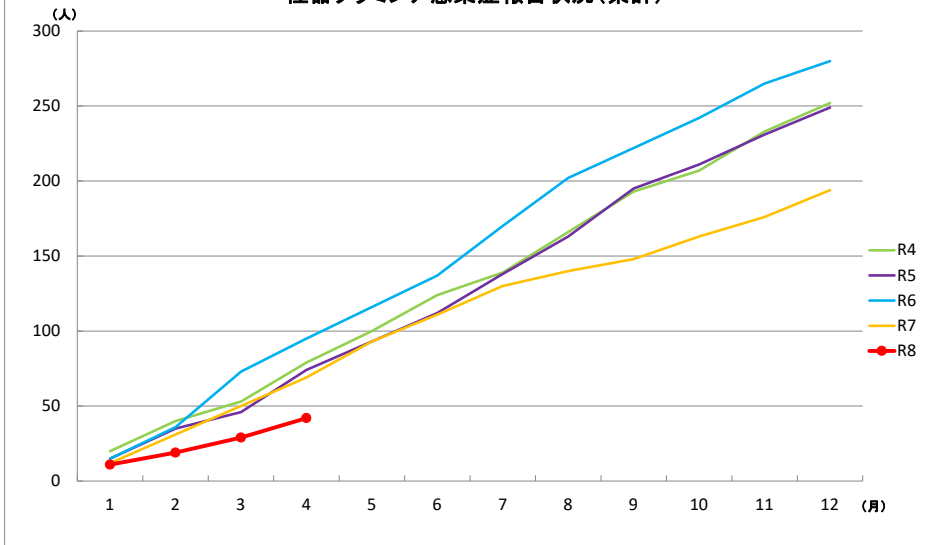
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



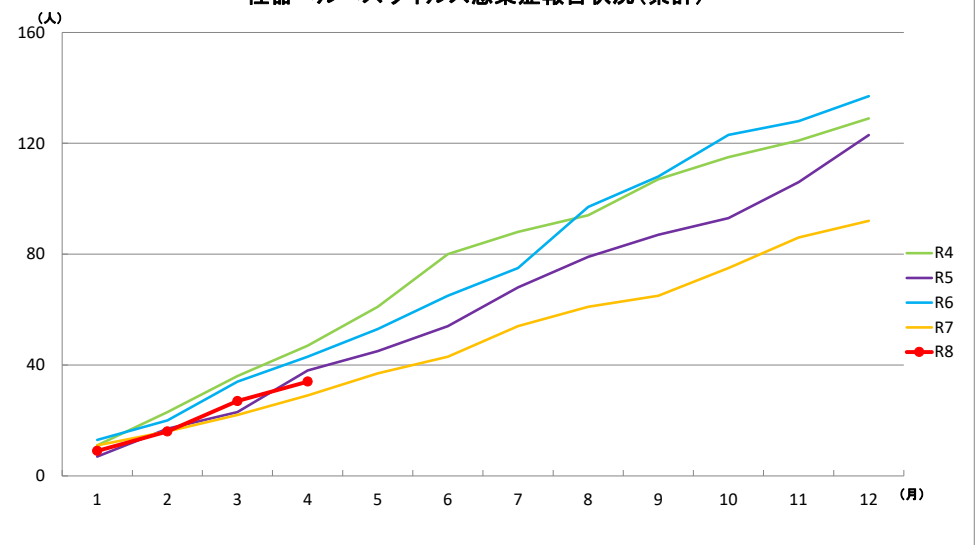
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



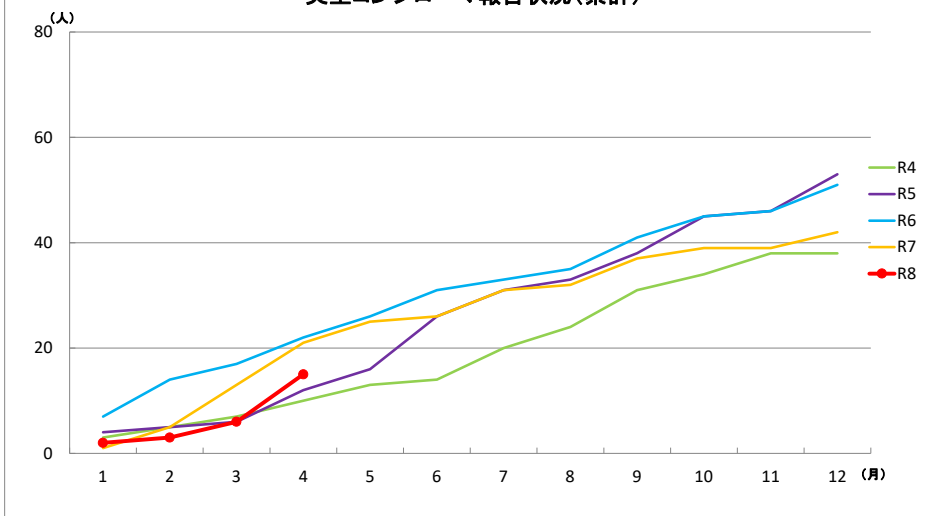
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



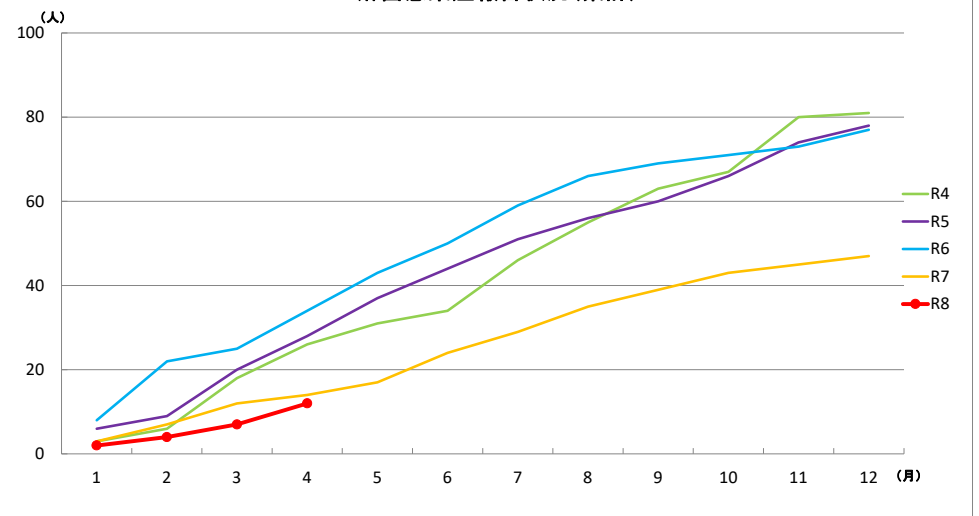
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)

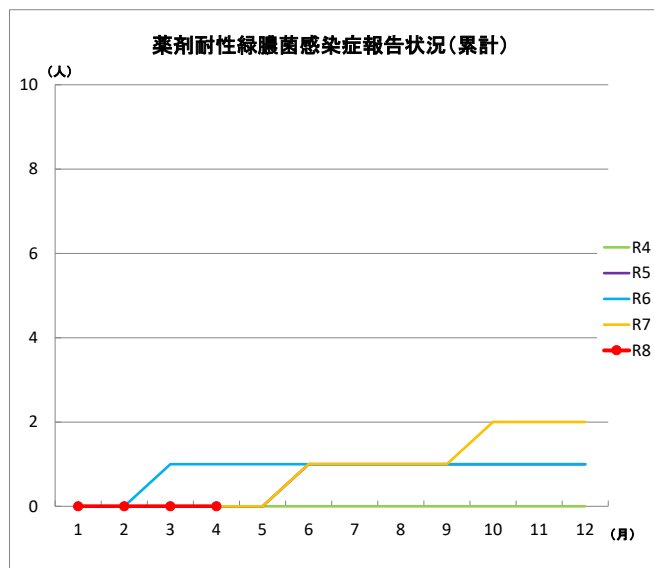
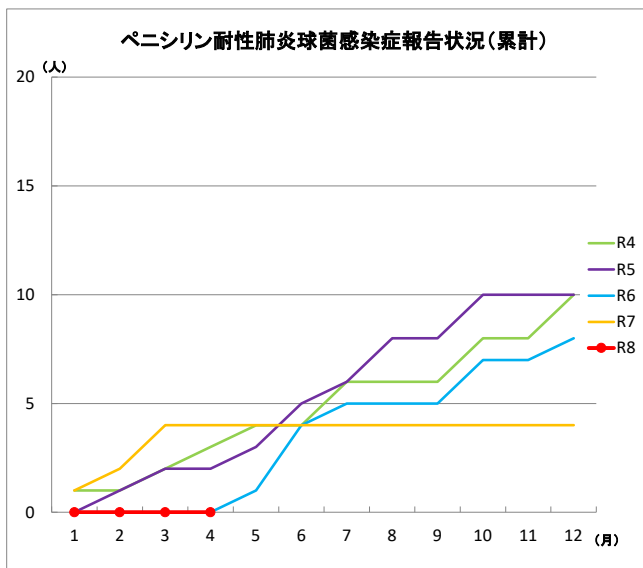
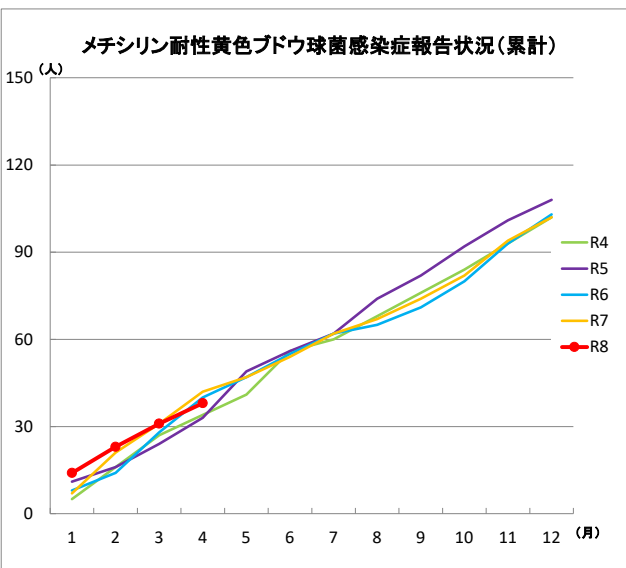
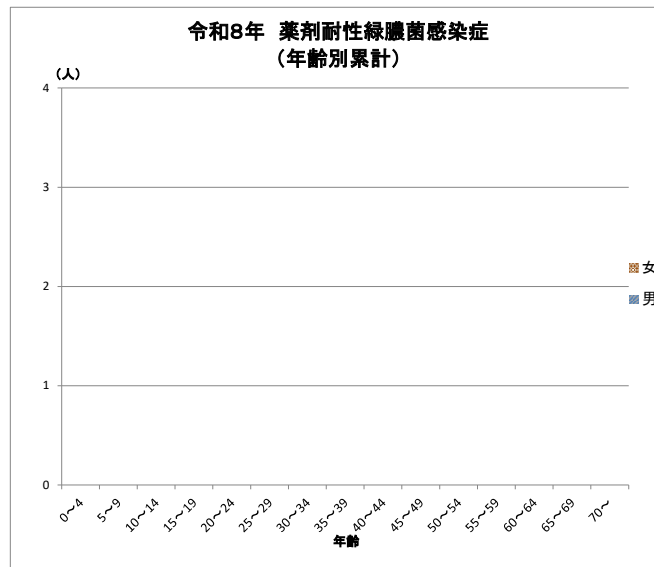
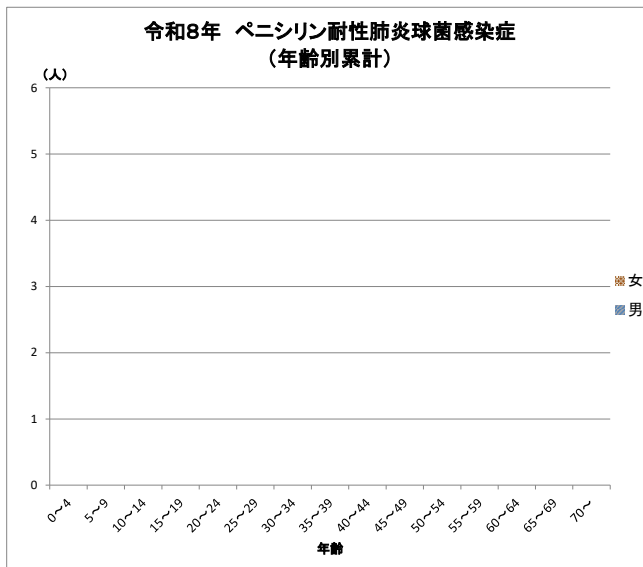
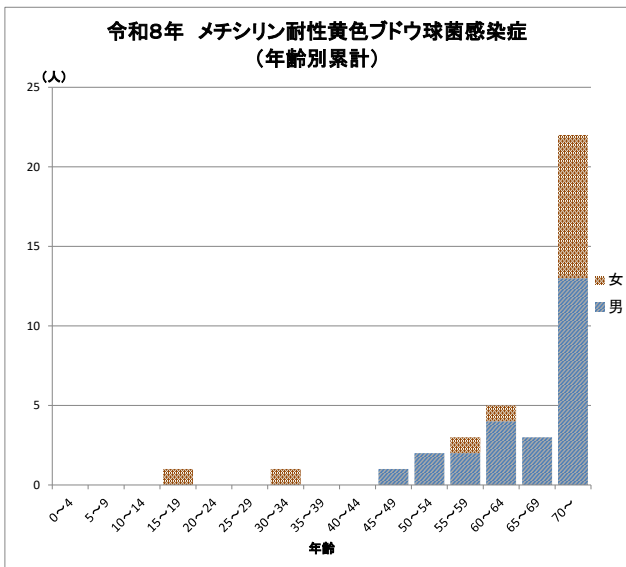


尖圭コンジローマ報告状況(累計)



淋菌感染症報告状況(累計)





令和8年4月30日 現在

※()は健康保菌者

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													4月時点	年間	
令和8年	6 (4)	2 (1)	1	4 (2)										13 (7)	13 (7)
令和7年							1 (1)	2	24 (2)					27 (3)	27 (3)
令和6年		1	1		5 (2)	2 (1)	1 (1)	3	1 (1)	3 (1)	3	1		21 (6)	21 (6)
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)		2 (1)		19 (6)	19 (6)
令和4年		2 (2)				1	2	3				3 (1)	3	14 (3)	14 (3)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)							10 (6)	10 (6)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1		26 (9)	26 (9)
令和元年		1	1 (1)		6 (1)	1	2		4 (1)	3 (2)	4	2 (2)		24 (7)	24 (7)
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1				22 (2)	22 (2)
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1				4 (3)	1 (1)	21 (11)	21 (11)

② 血清型別件数

区分	O1	O8	O26	O29	O55	O103	O111	O125	O128	O145	O146	O148	O157	型不明	計
令和8年	1 (1)					3 (1)						1 (1)	6 (2)	2 (2)	13 (7)
令和7年						1 (1)							25 (1)	1 (1)	27 (3)
令和6年			1		2 (2)		2				1 (1)		13 (1)	2 (2)	21 (6)
令和5年			1 (1)										17 (4)	1 (1)	19 (6)
令和4年						3					2 (2)		8	1 (1)	14 (3)
令和3年						4 (2)					1 (1)		3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年		1	4 (2)	1		4 (2)	3 (1)	1 (1)	1		1 (1)		7	3 (2)	26 (9)
令和元年						3 (1)	4 (1)						15 (3)	2 (2)	24 (7)
平成30年			2			3				1			16 (2)		22 (2)
平成29年			1			2 (1)	4 (3)				1 (1)		10 (3)	3 (3)	21 (11)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和8年	2 (1)			2 (1)	3 (1)		2 (2)	1	3 (2)			13 (7)
令和7年			2	3	9	3 (1)	3 (1)	4	2	1 (1)		27 (3)
令和6年	3	3	1	3 (2)	5 (1)		2 (1)	1 (1)	2 (1)	1		21 (6)
令和5年	1	2 (1)	1	1	4 (1)	2 (1)	4 (3)	2			2	19 (6)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (3)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (7)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1			22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)		2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計
令和8年	1 (1)	2	10 (6)	13 (7)
令和7年	2	4 (1)	21 (2)	27 (3)
令和6年	2 (1)	6	13 (5)	21 (6)
令和5年	3 (1)	7 (1)	9 (4)	19 (6)
令和4年	5 (1)	6	3 (2)	14 (3)
令和3年	4 (2)	3 (2)	3 (2)	10 (6)
令和2年	3	15 (5)	8 (4)	26 (9)
令和元年	6 (2)	14 (3)	4 (1)	24 (6)
平成30年	7	5	10 (2)	22 (2)
平成29年	1	8 (4)	12 (7)	21 (11)

鳥取県病原微生物検出情報

(令和8年4月検出分 検体採取 令和8年3月及び4月)

令和8年5月15日
鳥取県衛生環境研究所

1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体53件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A型及びB型、パラインフルエンザ1-4、RS-A型及びB型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナNL63、コロナOC43

○検査対象（細菌）

マイコプラズマ

○検出結果

53件中36検体(68%)から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：19件、ボカ：5件、ヒトメタニューモ：1件、RS-A型：4件、RS-B型：2件、アデノ：1件、インフルエンザB型：6件、コロナNL63：2件、コロナOC43：7件であった。令和8年1月から令和8年4月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり(ただし、検出件数は重複検出を含む。)

表1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和8年1月～4月検出分）

年齢	病原体年齢別検出数（4月検出数/累積）														合計	
	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≤			
標本数	24	100	2	10		8	4	23	11	30	9	41	3	19	53	231
ライノ	13	50	2	3			1	6	1	2	2	6		1	19	68
ボカ	4	9	1	1											5	10
ヒトメタニューモ		1					1	1							1	2
RS-A	2	4									1	2	2	2	4	7
RS-B	1	4							1		2	1	4	2	2	11
SARS-CoV-2		3							2		9		5			19
パラインフルエンザ1																
パラインフルエンザ2																
パラインフルエンザ3		1														1
パラインフルエンザ4				1												1
アデノ		11									1	1			1	12
エンテロ																
インフルエンザA型		6		2		2		3		3		2		1		19
インフルエンザB型		3		4		4	2	4	2	3	2	5		1	6	24
コロナNL63	2	7								2		1			2	10
コロナOC43	5	19						4	1	5	1	5		1	7	34
マイコプラズマ								1								1
検出せず	7	16		1		2		5	7	12	3	11		4	17	51

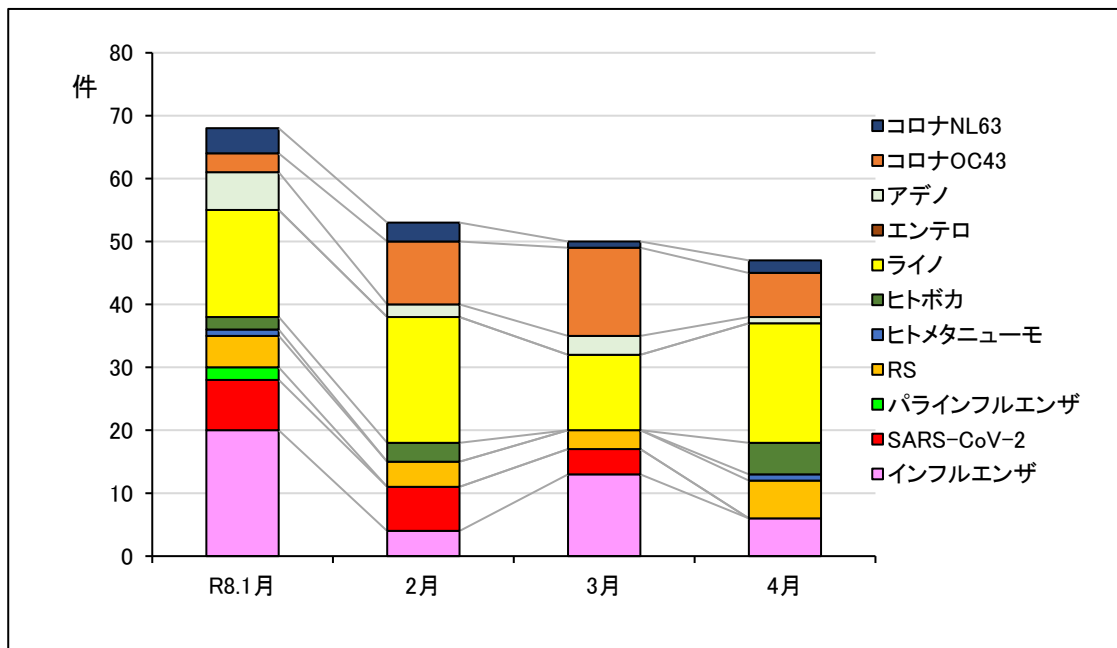


図1. 急性呼吸器感染症の月別ウイルス検出状況 (令和8年1月～4月検出分)

アデノウイルスの1件は、F種41型であった。F種41型は、胃腸炎の原因ウイルスであるが、この患者は発熱と咽頭痛のみで胃腸炎症状はなく、また、Ct値も35以上と高く偶発的な検出であると考えられた。

インフルエンザB型6件はすべてビクトリア系統であった。

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の29件について検査を行ったところ、ノロウイルスGIが1件、GIIが15件検出された。遺伝子型はGIがGI.P2-GI.2、GIIがGII.P16-GII.4が8件、GII.P17-GII.17が1件、GII.4(ポリメラーゼ領域型不明)、ポリメラーゼ領域及びカプシド領域いずれも型不明が2件であった。アデノウイルスは感染性胃腸炎の原因ウイルスとされるF種41型が3件検出された。この他サポウイルスが6件、アストロウイルスが1件検出された。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の14件について検査を行ったところ、A群溶血性レンサ球菌が7件(T型別3型:2件、T型別4型:2件、T型別B3264型:3件)分離された。3型、4型、B3264型は咽頭炎で多くみられる型である。

4 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の4件について検査を行ったところ、A型が3件検出された。症状は咳嗽、鼻汁で、呼吸困難などの重症例はなかった。

5 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の3件について検査を行ったところ、エンテロウイルス(ライノウイルスは含まず)、アデノウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルスのいずれのウイルスも検出されなかった。

